

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

2月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 3,060件（前月比1.2, 前年同月比3060.0）でした。昨シーズンはインフルエンザの流行を認めなかったため、昨年比が3060.0と著しく上昇しています。前月比も1.2と上昇しています。発生数は昨年の11月より連続して増加しています。菊池(57.50)、宇城(57.17)、八代(51.71)、熊本(48.56)、天草(30.86)が警報レベルとなっています。今後の発生動向に注意が必要です。

小児科定点

（全体傾向）

5,041件（前月比1.14、前年同月比3.17）であり、前月比、前年同月比とも上昇しています。インフルエンザ以外の発生数では、感染性胃腸炎1,289件（前月比1.1、前年同月比1.3）、RSウイルス感染症222件（前月比1.1、前年同月比0.8）の占める割合が高くなっています。また、ヘルパンギーナ106件（前月比1.4、前年同月比10.6）が昨年より高い値で推移しています。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 222件（前月比1.1、前年同月比0.8）です。前月比は1.1であり、大きな変化はありませんが、昨年9月からは3桁の数値（129件～222件）で推移しています。前年同月比は0.8と低下しており、前年より低い値で推移しています。八代(15.50)が特に高くなっています。
2. 咽頭結膜熱 : 37件（前月比1.5、前年同月比1.4）でした。前月比、前年同月比ともに上昇しています。水俣(3.0)が高くなっています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 45件（前月比2.0、前年同月比3.2）でした。前月比、前年同月比ともに上昇しています。山鹿(2.50)が高くなっています。
4. 感染性胃腸炎 : 1,289件（前月比1.1、前年同月比1.3）でした。前年同月比が上昇しています。昨年の12月より連続して4桁の数値（1,215～1,591件）で推移しています。菊池(63.60)、御船(43.00)、有明(40.20)が特に高くなっています。
5. 水痘 : 15件（前月比1.0、前年同月比0.7）でした。前年同月比が低下しています。昨年の11月(57件)をピークとして、以後は低下しています。
6. 手足口病 : 24件（前月比0.5、前年同月比1.0）でした。前月比が低下しています。発生数は、昨年の9月(402件)をピークとして、11月からは連続して減少しています。
7. 伝染性紅斑 : 0件（前月比-, 前年同月比-）でした。1月、2月の発生はありませんでした。この1年間は低い値で推移しています。
8. 突発性発疹 : 76件（前月比0.9、前年同月比0.9）でした。例年と同程度で推移しているようです。
9. ヘルパンギーナ : 106件（前月比1.4、前年同月比10.6）でした。前月比、前年同月比はともに上昇しています。特に前年同月比は10.6と著しく増加しています。この時期としては、例年よりも高い値で推移していますので、今後の発生動向に注意が必要です。有明(6.2)、菊池(5.0)が特に高くなっています。
10. 流行性耳下腺炎 : 8件（前月比1.1、前年同月比8.0）でした。前年同月比が上昇していますが、低い値で推移しています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 12 件で前月比 0.8 と減少し、前年同月比 4.0 と増加しています。熊本 11 件、有明 1 件の報告です。特出している年齢層はありません。

STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：
報告数 70 件（前月比 1.1、前年同月比 1.2）で、前月比・前年同月比共に微増しています。男女別では男性が 47 件で、女性は 23 件でした。年齢別では男性が 15 歳～54 歳に、女性は 10 歳～39 歳の年齢層でした。地区別では熊本が 51 件、有明が 7 件、御船が 6 件、宇城が 3 件、菊池が 2 件、八代が 1 件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数 15 件（前月比 0.8、前年同月比 0.7）で、前月比・前年同月比共に減少しています。男女別では男性が 7 件、女性が 8 件でした。年齢別は男女共に 20 歳～70 歳以上の年齢層にみられています。地区別では熊本が 8 件、八代が 3 件、菊池が 2 件、有明と宇城が各 1 件でした。
3. 尖圭コンジローマ：
報告数は 9 件（前月比 1.1、前年同月比 1.3）で、前月比・前年同月比共に増加していました。男女別では男性が 7 件で女性が 2 件でした。年齢別では男性は 20 歳～59 歳に、女性は 25 歳～29 歳の年齢層にみられています。地区別では熊本が 6 件、宇城が 2 件、菊池が 1 件でした。
4. 淋菌感染症：
報告数は 24 件（前月比 0.6、前年同月比 1.0）で、前月比で減少し、前年前月比では変化ありませんでした。男女別では男性が 20 件で、女性は 4 件でした。年齢別では男性が 15 歳～54 歳、女性は 20 歳～39 歳の年齢層にみられています。地区別は熊本が 21 件、御船が 2 件、宇城が 1 件でした。

基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数は 25 件（前月比：0.9、前年同月比：1.9 男女比：18/7）と減少傾向でした。熊本(10)、山鹿(4)、阿蘇・八代・有明(各 3)、人吉(2)でした。年齢分布としては 70 歳以上(15)、65-69 歳(3)、50-54 歳(2)、1-4 歳・30-34 歳・40-44 歳・55-59 歳・60-64 歳(各 1)と前回同様に高齢者に多く認められました。
▼例年より多い報告数で経過していますので注意が必要です。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
報告数は 3 件（前月比：1.5、前年同月比：3.0、男女比：1/2）と増加傾向でした。有明(2)、熊本(1)でした。年齢分布としては 1-4 歳(3)でした。
▼例年並みの報告数でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告数は 0 件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年並みの報告数でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。減少傾向でした。
▼例年並みの報告数でした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数は1件（前月比：1.0、前年同月比：-）で横ばい推移でした。熊本(1)で、年齢分布としては70歳以上(1)でした。
▼例年並みの報告数でした。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼昨年4月以降報告がありません。
4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼引き続き報告がありません。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼昨年10月以降報告がありません。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	14件
3類感染症	： 報告はありませんでした。	
4類感染症	： レジオネラ症	2件
5類感染症	： カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	2件
	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
	水痘(入院例)	1件
	播種性クリプトコックス症	2件
	梅毒	24件
新型インフルエンザ等感染症：		
	新型コロナウイルス感染症	11,338件